

平成 30 年度第 3 回藤沢市図書館協議会 会議録

日 時 2019 年（平成 31 年）1 月 23 日（水）午後 3 時から 5 時 45 分まで

場 所 南市民図書館 2 階 第 1 会議室

出席者 委員側 7 名

委員長 長谷川 豊祐

委 員 佐々木 美乃, 於保 ミチ子, 石川 美保子, 今福 美佐子,
中田 孝信, 中村 昭彦

図書館側 11 名

| | | |
|---------|--------|--------|
| 総合市民図書館 | 館長 | 高橋 眞智子 |
| | 専任主幹 | 饗庭 寛子 |
| | 主幹 | 渋谷 宇一郎 |
| | 主幹補佐 | 岡田 茂雄 |
| | 専任主幹補佐 | 瀬戸 あかね |
| | 専任主幹補佐 | 田嶋 有紀子 |
| | 上級主査 | 吉澤 宏直 |
| | 主査 | 山田 さやか |

NPO 法人市民の図書館・ふじさわ

事務局長 河村 融

辻堂市民図書館 責任者 京田 陽子

湘南大庭市民図書館 責任者 大賀 慶子

1. 開会

2. 議題
- (1) 前回会議録の確認について
 - (2) 議会について
 - (3) 南市民図書館関連について
 - (4) 秋の読書週間及び図書館まっりの結果について
 - (5) 9 月から 12 月までの事業報告
 - (6) その他

委員長 それでは、平成 30 年度第 3 回藤沢市図書館協議会を開催いたします。
まず始めに本日の会議の成立について、事務局から報告をお願いいたします。

事務局 事務局から会議成立のご報告をさせていただきます。
本会議の成立につきましては、「藤沢市図書館に関する規則」第 20 条第 2 項に「委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」と規定されております。

本日は委員 7 人全員出席となりますので本会議が成立していることを、ご報告させていただきます。

また、本日の会議は公開としており、傍聴者は 5 名までとなっておりますが、現時点ではおりません。それでは委員長よろしく願いいたします。

委員長 ありがとうございます。それでは、お手元の次第に沿いまして議事を進めさせていただきます。

 まず議題（1）前回会議録の確認について、事務局から説明をお願いします。

事務局 前回会議録につきましては、1月17日（木）に委員の皆様宛にご送付させていただいております。すでにご確認いただいているかと思いますが、何かご意見等ございましたら、ご発言をいただき、特にないようでしたら、この場で会議録を確定してまいりたいと思いますのでよろしくお願いたします。

委員 会議録の P.2 下から 2 行目については、「登録冊数」ではなく、「貸出件数」です。p.5 予約の多い本が貸出の多い本のリストに掲載されていないのはなぜかということ、そして、その理由として取り置き期間が長いからではないかということについても質問いたしましたので掲載していただきたいと思います。

事務局 記録をもう一度確認して、修正し、委員にご確認をいただくということによろしいでしょうか。その後、委員長、副委員長とご相談をさせていただき、他の委員からご意見がなければ確定ということによろしいでしょうか。

委員長 委員の皆様よろしいでしょうか。それでは、次回委員会での最終確認ではなく、文書連絡等で確認をとり、確定とさせていただきたいと思います。

 それでは、次の議題に移ります。議題（2）議会について事務局から説明をお願いします。

事務局 議会の主な質疑についてご報告いたします。

●平成30年9月 市議会定例会 子ども文教常任委員会（9月10日）

平川委員（藤沢市公明党）

 小田急百貨店に移設し、市民ギャラリーとの複合になるが、割合的にどちらがどのぐらいになるのか。

【答弁】

 南市民図書館と市民ギャラリーの面積の割合については、今後レイアウトを考えるうえで検討していきたい。ただ、南市民図書館の現在の機能がそのまま維持できるスペースは守っていきたいと考えている。

酒井委員（市民派クラブ）

 暫定ではなくて本移転と位置づけるという考えは今のところはないのか。

【答弁】

 現在のところは、あくまでも市の公共施設再整備プランに沿っての検討であり、その中では、市民会館や南市民図書館の再整備を基本としているため、再整備期間中のかわりの施設という位置づけで今のところは考えている。

酒井委員（市民派クラブ）

今回暫定の整備をするに当たって、コンペとかプロポーザルなどで、市民や民間からアイデアを募って、お金をかけずフロアや壁面デザインとかをやればと考えるが、入札方法など決まっていなければ、そのような検討をしてはどうか。

【答弁】

現在、小田急百貨店内に暫定の移設になるので、フロアのレイアウト、設計などはそちらのほうにお願いしたいと今のところは考えている。

原田委員（市民クラブ藤沢）

デパートの中に入るといふことになると、全国的になるべく早くあけて、なるべく夜遅くまでというのが流れかと思う。ぜひそうしていただきたいと思うが、どのように考えているか。

【答弁】

開館時間については、移設先の状況をまず踏まえながら、他市の同様な事例も参考にして、駅周辺の利便性を生かせるということで検討していきたい。

竹村委員（民主クラブ）

図書館の運営というのは、単に箱物の話だけではなく、その運営を担う人の問題もあると思う。開館時間は延ばしてほしいという議論になるのは当然だと思うが、それを担う方たちの人の問題もあると思う。図書館にかかわってきた方たちの意見を十分吸い上げて、よりよいものにつくっていくことも重要だと思うが、どのように考えているか。

【答弁】

利用者のニーズ、また働き方の中で職員等の意見も含め、近隣や既に先進的に駅周辺で開館している他の自治体、図書館などの情報収集もしながら、丁寧に検討していきたい。

●平成30年9月 決算特別委員会（10月4日）

土屋委員（日本共産党藤沢市議会議員団）

総合市民図書館の昨年度の取り組みについて

【答弁】

図書館では、一人一人のライフサイクルに合わせるとともに、学びや課題の解決など、市民の多様なニーズに対応できるよう図書館サービスに取り組んでいる。昨年度の新たな取り組みとしては、産業労働課と共催によりマイスタービブリオテック事業として、藤沢マイスターである美容師の方をお招きし、親子でできる簡単ヘアアレンジという事業をワークショップ形式で実施。参加した方からは、好評をいただき、知ること、学ぶことの楽しさや喜びを感じていただけたと考えている。図書館に来たことのない人にも興味を持って図書館に来館してもらえよう、そういった事業を企画して、図書館のPRや一人一人のニーズに合わせた図書館サービスの充実に取り組んでいる。

土屋委員（日本共産党藤沢市議会議員団）

今年度の予算が減額になっている。図書館資料の充実という点では、今後に向けて資料購入費の増額を図っていく必要があるのではないか。

【答弁】

図書館の資料購入費については、図書館運営の根幹をなす経費であると考えている。平成27年度からは、平成26年度の市民からの寄附により、積み立てを行った文化振興基金を活用し、4市民図書館、11市民図書室の資料の充実を図った。平成30年度においても、厳しい財政の状況の中で減額とはなっているが、引き続き文化振興基金を活用して資料購入費の確保に努め、多様化する市民の要望に応じてさまざまな資料を提供していきたいと考えている。

土屋委員（日本共産党藤沢市議会議員団）

指定管理者制度の適用や、民間への安易な業務委託など、図書館運営にはなじまないのかなと思っている。民間企業に管理運営を委ねる指定管理者制度の適用だとか、利用者に接する業務の民間委託は図書館サービスの変質につながりかねないと思う。今後の図書館運営のあり方について、現行の直営体制を維持していくべきだと考えるが、市の考えを聞きたい。

【答弁】

公共図書館として本市の図書館運営については、4市民図書館と11市民図書室で市の直営による運営を行っている。そのうち、辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の2館は、専門的な知識や経験を有する市民スタッフにより構成されているNPO法人に図書館業務を委託し、地域に密着した図書館サービスの提供を行っている。今後についても、市民に親しまれ、地域に根差した質の高いサービスの提供ができるよう、現在の市民との協働を重視した運営体制を基本として、図書館の運営管理を進めていきたい。

●平成30年11月 藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会

(11月19日)

山内委員（日本共産党藤沢市議会議員団）

南市民図書館、市民ギャラリーは、小田急百貨店のままで良いのでは？

【答弁】

基本的には暫定移転。来年度以降、意見を聞く機会があるので、議論していく。

脇委員（民主クラブ）

文化芸術検討委員会、これからの図書館検討委員会からの代表的な意見は？

【答弁】

24時間リハーサルができるような意見もあった。これからの図書館検討委員会からは、建て替えに時間を要するなら、駅周辺への仮移転の提言を受けている。

原田委員（市民クラブ藤沢）

南市民図書館は暫定移設で小田急百貨店に入る。利便性が良いので、そのまま残る可能性もある。1か所にする判断はいつ頃するのか？

【答弁】

これからの移設だが、設計が始まると後戻りできない。一定のタイミングで判断する必要がある。

●平成30年11月 藤沢市行政改革等特別委員会（11月22日）

柳田委員（民主クラブ）

南市民図書館の運営をNPOに移していくかどうかを検討しているということだが、これはどういった視点なのか。

【答弁】

今回、検討を考えているNPO法人については、社会貢献、地域貢献を目的とした団体であり、辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館を受託しているこの法人は、図書館に関する専門性を持った地域の市民スタッフが地域に密着した図書館を目指して、サービスの充実を図っている。この点からも、マルチパートナーシップといった視点から推進を図ることにより、効率的、効果的な業務運営が図られるものと考えている。

柳田委員（民主クラブ）

目的と手段が逆になっていないか。要するに、マルチパートナーシップが目的ではなく手段ではないかということ。

【答弁】

図書館というのは、地域の知の拠点として、あるいは、地域の人たちの居場所としての役割を持っている。そういったものを目指して図書館を運営しているが、このNPO法人自体が社会貢献とか地域貢献を目指している団体であることから一緒にやっていくのがいいのではないかという判断で検討している。

柳田委員（民主クラブ）

南市民図書館は果たしてどういう図書館なのか。昔は中央図書館だった。今、規模はかなり小さくなっているが、利用者は多い。これから市民会館建てかえというのも視野に入ってくる時に図書館が移転なり改築なりすることになると、南市民図書館は中央図書館機能に戻してもいいのではないかと思うがどうか。

【答弁】

南市民図書館は以前は藤沢市の中心の中央図書館として、図書館事業を運営していた。その後、総合市民図書館が設営されたことに伴い、4館構想の中核として、基盤となる考え方は総合市民図書館で担いながら、辻堂市民図書館、湘南大庭市民図書館、そして南市民図書館を、業務委託という形で、指針を持ちながら進めている。

将来的にどうなるかは、市民、利用者の御意見、御要望等もしっかりと受け

とめながら、見直すところは見直すというふうに思っている。

柳田委員（民主クラブ）

仮に市民会館のところにまた戻るとなったとき、そこを中央図書館にしようとなる可能性が高いのではないか。その際に、NPOの方々が南市民図書館の暫定利用の間、とりあえず担うという形で増員したりしたら、どうなるのか。そういうことまで考えているか。

【答弁】

これからの藤沢市の図書館のあり方になると思う。これから南市民図書館の再整備がどのように進んでいくかというところもあるが、現時点では、南市民図書館の再整備自体のところこれからということになるため、そういったところも含めながら、全体で考えていきたいと考えている。

委員長 事務局からの説明が終わりました。議題（3）南市民図書館関連についてもお話しただいたということですのでよろしいでしょうか。
このことにつきまして何かご意見、ご質問等はございますか。

事務局 それでは、皆様に南市民図書館の状況を知っていただきたいという趣旨もあり、今回、館内の見学のご案内をいたします。

《南市民図書館館内見学》

委員長 みなさま、お疲れさまでした。施設見学の感想については最後にうかがうことにしまして、次の議題に移ります。

議題（4）秋の読書週間及び図書館まつりの結果について事務局から説明をお願いします。

事務局 読書週間は、11月3日を挟む前後一週間と位置付けており、一般的に10月27日から11月9日までを読書週間とし、図書館においてさまざまな行事を行っています。

＝資料に基づき説明＝

事務局 総合市民図書館では、図書館が地域に密着し親しまれる施設となることを願い、毎年11月の第2土曜日に「図書館まつり」を開催しています。

毎回、地域の団体である、湘南台社会福祉協議会や、総合市民図書館近隣自治会の共催で行っており、今回で11年目11回目の開催となります。

＝会議資料に基づき説明＝

委員長 ありがとうございました。

それでは、次の議題（5）9月から12月までの事業報告について事務局から説明をお願いします。

- 事務局 TVアニメ『青春ブタ野郎はバニーガール先輩の夢を見ない』の冒頭で総合市民図書館が舞台になっています。ライトノベルで、春に映画化されるということで、総合市民図書館内にポスターやチラシを貼ってPRをしています。聖地巡礼ということで、全国から図書館撮影のため来館されています。
＝その他、各館からの資料に基づき説明＝
- 委員長 ありがとうございます。事務局からの説明が終わりました。これまでのことにつきまして何かご意見、ご質問等はございますか。
- 委員 私の勤めている隣の市の図書館でこんなにたくさんの行事や展示を行っているのを初めて知り、本当にびっくりするとともに、尊敬します。これほどたくさんの方の行事を行った際に報償費がかかると思いますが、予算はどのくらい使われているのでしょうか。
また、少し前に戻りますが、図書館まつりでリサイクル本の1冊20円の寄付で今回69,840円ということでしたが、どのような処理となっているのでしょうか。
- 事務局 報償費につきましては、基本的には藤沢市の標準的な謝礼金額に合わせて謝礼をお支払いするかたちで考えております。
- 委員 年間予算にするとどのくらいになるのでしょうか。
- 事務局 総合市民図書館で申し上げますと、30万円前後になります。
- 事務局 藤沢市地域人権啓発講演会では、人権男女共同平和課で講師料を持っていただき、総合市民図書館は場所の提供と周知を行いました。
- 事務局 図書館まつりの話をさせていただきます。
図書館まつりのチラシの一番下に主催者の名前が入っているのですが、図書館まつり自体が地域と連携して行う共催事業となっておりますので、会計自体は市の会計に組み込むものとしての取り扱いはしておりません。
売り上げの一部で本などを買って実行委員会から図書館に寄付をしてくださる方をとっています。
- 委員 湘南大庭市民図書館の説明のなかで、市民文庫というのがありましたが、地域資料の一部なののでしょうか。
- 事務局 市民文庫というのは、藤沢市にゆかりのある方の著作を総合市民図書館の参考調査室で市民文庫に該当するかどうかを審査し、市民文庫登録されたものを著者の名前順に配架しているものです。
その書架をご存じでない方に対して、期間中、図書館だよりでさまざまな分野で活躍されている郷土の文化人として紹介された方の資料を4人分ずつ市民

文庫の書架から展示書架に持ってきて展示したというものです。

事務局 市民文庫の中に郷土資料も一般資料もあります。ただし、わかりやすくするために、検索をかけると市民文庫と表示されます。すべてを市民文庫にすることはできませんので、一般書庫にも混ぜています。

委員 資料は寄贈されたものが多いのでしょうか。

事務局 寄贈以外もあります。

委員 市民文庫も統計上はNDC別になっているのでしょうか。

事務局 各分野に分かれて、そのなかでも市民文庫のものもあるということです。

委員長 よろしいでしょうか。それでは、次の議題（6）その他についてございますか。

事務局 それでは、分野別の所蔵状況や割合について前回ご質問を受けておりましたが、なかなか正確な資料をお出しすることが難しい状況です。お配りした資料をもとに説明をさせていただきます。

NDC 分野別の割合をお示ししたかったのですが、藤沢市図書館4館の蔵書件数とすると、副本の数などが入ってくるため、今回の資料ではタイトル数で図書館システムから抽出しました。

＝資料に基づき説明＝

委員 今のコンピュータでは、統計資料の蔵書数と合う部門別データは出ないということでしょうか。

事務局 0門から9門の分野別というのはあるのですが、正確な統計が取れておりません。

タイトル数でまとめずに蔵書数でデータを取ると、複数冊持っている場合に割合に偏りが出てしまうためです。

委員 蔵書数を点数あるいは冊数でNDC別で示すべきではないかと思いますが。

事務局 お示しすることはできますが、現システムでは図書館概要に記載の数字とずれてしまう可能性があるため、すぐにはできないということですのでご理解いただければと思います。

委員長 よろしいでしょうか。その他についてほかにごございますか。

事務局 それでは、前回9月の図書館協議会で前期図書館協議会において実施した図

書館利用者アンケートについてご質問をいただきましたので、図書館利用者アンケートの状況についてご説明させていただきます。

総合市民図書館では、前期の図書館協議会が主体となり、平成28年8月から9月にかけて「利用者アンケート」を行い、アンケートの集計結果とその分析、方向性について検討し、昨年6月に開催した図書館協議会の中でアンケート結果の報告を行いました。

なお、アンケート結果については、図書館ホームページで公開するほか、今後の図書館運営の参考にすることについて、前の図書館協議会でご確認をいただいております。1月16日に図書館ホームページでアンケート結果を公開しています。

＝資料に基づき説明＝

委員長 新たな委員の方もいらっしゃるのをお示しいただきましたが、いかがでしょうか。

委員 概ねいい評価がたくさん出ていると思います。中には相反する意見があり相殺されるのかと思います。今後の改善希望のなかで、方向性は出しているのですが、具体的にやってみたいことがあれば、お教えいただけますでしょうか。

事務局 今回は、図書館協議会に諮り、利用者満足度を主眼に行ったアンケートであり、新しいサービスというよりも満足でない部分を浮き彫りにしたアンケートであると考えております。

委員 改善に向けた具体的なものが何かあるのかと思いました。

委員 不満を解消するには予算も必要とするものも多く、どこまでできるかわかりませんが、Wi-Fi環境や開館時間の延長、駅前返却ポストについては要望意見が多かったと思います。

事務局 おっしゃっていただきましたとおりであると思います。
Wi-Fiについては課題もありますので、導入にあたっては市民の声を聞きながら解決にあたっていく必要があると思います。

開館時間の延長については、利用者サービスにつながる場所がありますが、財政面も考えていかなければならない課題であると思います。駅前に南市民図書館が暫定移設することで、開館時間の拡大にもつながるかと考えております。

駅前返却ポストについては、返却された本などの回収や返却ポストの設置にコストがかかることから費用対効果などを検証し、研究してまいりたいと考えております。

委員長 まず、アンケートで課題を抽出したら、できることとできないことを判断し、できないのであれば理由を示すことが回答してくださった方々への返礼となるのではないかと思います。アンケート結果に対して、是非何らかの反応を示し

ていただきたいと思います。

事務局 職員による、「これからの図書館検討会議」においてもアンケート結果を取り上げるなど、いただいた声を生かして取り組んでいきたいと思っております。
南市民図書館の暫定移設にあっても、駅前の商業施設に入ることになりますので、いいきっかけとなると思います。どのようなサービスができるかということも含めて、もう少ししたら公表できると思います。

委員 近代化に期待しています。

委員長 個人的な意見ですが、途中何も言わないと、期待だけが膨らむと思うので、検討中であれば検討中であることだけでも示すべきだと思います。

委員 予算確保が難しいことはわかるのですが、例えば Wi-Fi や閲覧用の PC については図書館の最低限の標準整備であると思います。そう考えると、今のような説明では納得がいかないです。藤沢市民も相互利用により鎌倉市や横浜市の図書館を利用できるので、いろいろな図書館に行くのですが、他市の図書館で行っていることをぜひ藤沢市図書館でもやっていただきたいというものがいくつかあります。

事務局 インターネット検索用の PC は各館 1 台ずつあります。

事務局 なかなかすぐにはできませんが、資料費自体も減少傾向にあり、非常に厳しい財政状況です。そのなかで再整備などを含めさまざまなことを行わなければいけません。施設にあるけれども知られていないこともあると思います。昨年からも積極的に催しや行事を行い、今まで来館されていない方にもお越しいただけるよう、きっかけづくりの目線で行っております。できるところからということで、経費をかけずに行えるところは行っていきたいと考えておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

事務局 委員長から、今回皆様にお渡ししました利用者アンケートの自由意見欄について、どのような分布があったか等、もう少し継続して分析を行ってくださるというお申し出がありました。

一旦は区切りをつけ、ホームページにも掲載しておりますが、自由意見欄の分析については次回皆様にお示しできると思っております。整いましたら、ホームページでも追って公開したいと思っております。

委員長 ほかに何かございますか。

事務局 =図書館システムリプレイスの実施について事務局から説明=

- 委員長 ありがとうございます。図書館システムの新しくなったところを、ぜひ協議会の皆様にご紹介いただければと思います。
 これで議事は終了いたしました。何かございますでしょうか。
 それでは南市民図書館を見学した感想について一言ずつお願いいたします。
- 委員 本当に段差が多いと思いました。
 LPレコード展示があり、特集を組まれたりしていますが、LPレコードを聞かせるようなイベントはありますか。
- 事務局 再生機械がないため、今は行っていません。
- 委員 海に関する珍しい本があり、ダイビングなどの本が珍しいと思いました。藤沢市のいいところは各図書館がいろいろなテーマを持って本を集めているところだと思います。
- 委員 以前、うちの子どもが迷路のように楽しんでいました。大人や初めて来館された方にとってはどこに自分がいるのか迷ってしまうのではないかと思います。
 管理している方々も大変な苦勞をしてこられたと思います。
- 委員 小田急百貨店に暫定移設することにより、市民ギャラリーと併設されることで藤沢市内の子どもたちの美術展を見にくる親子が図書館にも来られるのではないかと思います。また、藤沢駅周辺に習い事に来る子どもたちも利便性から利用するのではないかと思います。
 また、外国語教育の導入に伴い、今後需要も増えると思いますので、外国語絵本やCDが充実するとありがたいと思います。
 テレビニュースで、読書人口は減少しているけれども、図書館は増加しているということでした。図書館は地域と関わるパイプ役をなしているという話でした。例えば、地域でコンサートを行っても一度で終わってしまうけれども、図書館では本を借りると返しに行くということでリピーターを増やすことになり、地域と関わるパイプ役になっているということでした。このフレーズを学校教育と絡めると学校の集団になじめない子どもがいたとして、興味のあることについての展示や催し物のポスターを見たときに、行ってみようと思うと思います。それを含めた保護者の方もひきこもりの子どもをお持ちであると、保護者の方も引きこもりがちになり社会との関わりが減ってくるという現状があるなかで、そういう場の提供をしてくださる図書館というのは、そういう方々にとっても、ありがたい場であり、きっかけを与えてくれることになるのではないかと思います。
 南市民図書館の見学では、1,2年生の子どもには階段が厳しいと思います。子どもの身長では視界を妨げ、閉塞感があると思いましたので、新しい図書館の設計に期待したいと思います。

委員 学生時代、南市民図書館を利用し、古い本を地下から出していただいたりしてましたので、感慨深かったです。

委員 南市民図書館は、入り口が暗く、入りにくい感じがしました。階段が多く、車いすの方が来られた際はどのように対応されているのだらうと思いました。移設先で開かれた図書館になるといいと思いました。

辻堂市民図書館では、入口のところに近隣で行われるイベントなど、さまざまな情報が集約されていて、ちょっとのぞけば何があるかがすぐ分かる良い掲示だと思います。

委員 入り口から階段があり、入りにくいと思いながら使わせていただいていた。働く人たちの環境も狭くて大変だと思いました。新しい図書館に期待します。

委員長 南市民図書館は古いので、このようなことを言われるのはあたりまえですが、1970年代にできた山形市の図書館にはスロープがあります。

今度できるものは70年の耐用年数があるので、70年経過したときに、今と同じようなことを言われないような図書館を作ることを目指すのが大切だと思います。

ファシリティマネジメントにおいてライフサイクルコストについてよく耳にしますが、過去に禍根を残すことをしないように、ということを念頭にひしひしと感じます。すごくいいものができるのだと思うのではなく、作ってもらう図書館ではなく、みんなで作っていく図書館だというような気持ちが表現されてくればいいなと思います。

事務局 ご意見・ご感想ありがとうございます。ODAKYU湘南GATE 6階に入るのはあくまでも暫定移設ということで一定期間となります。その先には、市民会館の建て替えに合わせての複合化が基盤になってまいります。この先、10年くらいはかかるであろうというところですが、今の段階では再整備ということで複合化として進めていきたいと考えておりますが、事情が変わってくることもあるかと思えます。

再整備に向けては、市民の方にとってどういうものがよいのかご意見をいただきながら、進めていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

委員長 ほかに何かございますか。

事務局 次回の図書館協議会は3月開催になります。

委員長 ほかに何かございますか。

特にないようですので本日の図書館協議会を終了します。皆様長時間にわたり、お疲れさまでした。

以 上